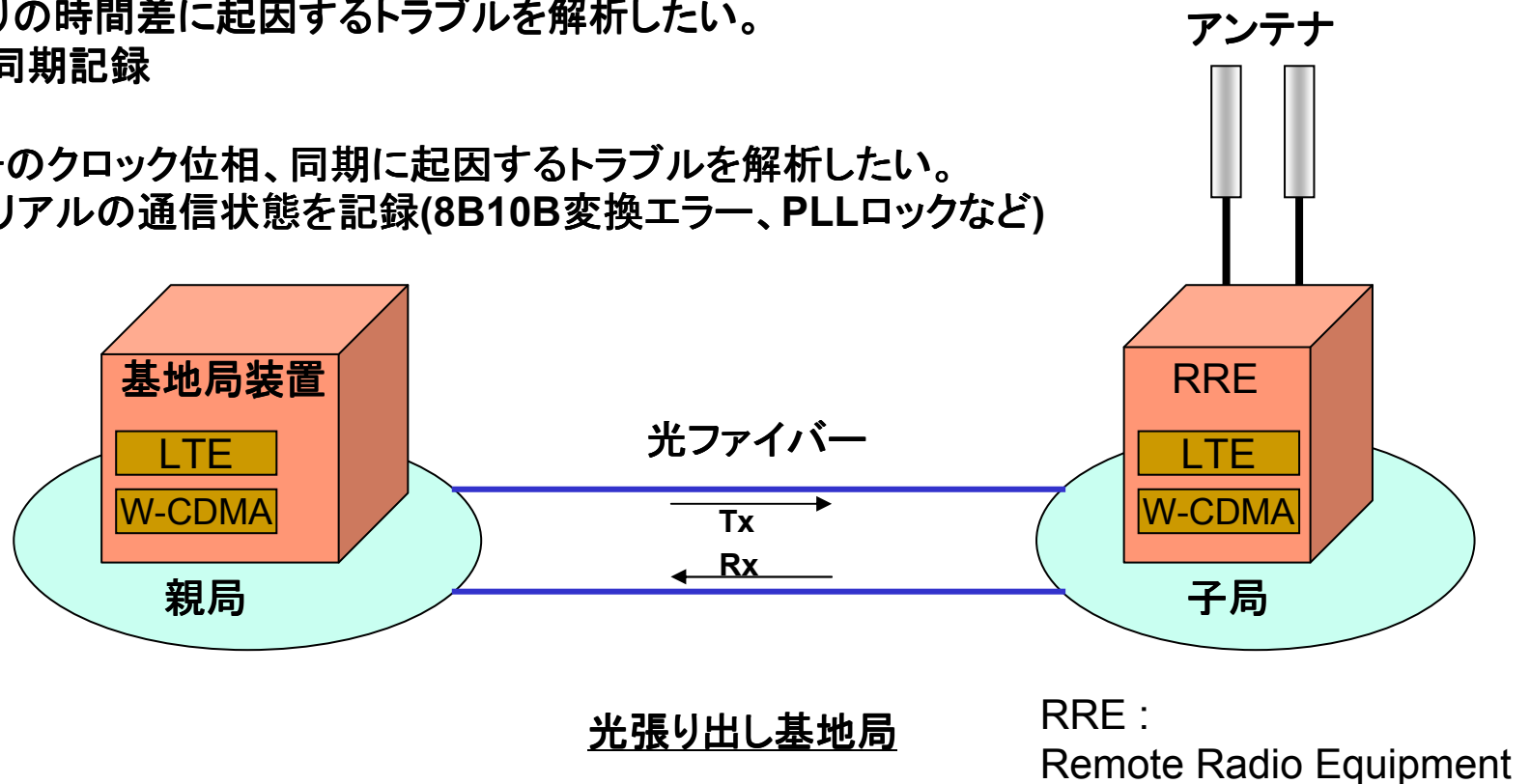


要望：

1. 頻度の少ないのトラブルを解析したい。
=>長時間記録
2. 上り、下りの時間差に起因するトラブルを解析したい。
=>2chの同期記録
3. 高速信号のクロック位相、同期に起因するトラブルを解析したい。
=>高速シリアル通信状態を記録(8B10B変換エラー、PLLロックなど)



SFPモジュール規格:

- 2.488Gbps
- 波長1310nmシングルモード
- LCコネクタ

CPRI規格:

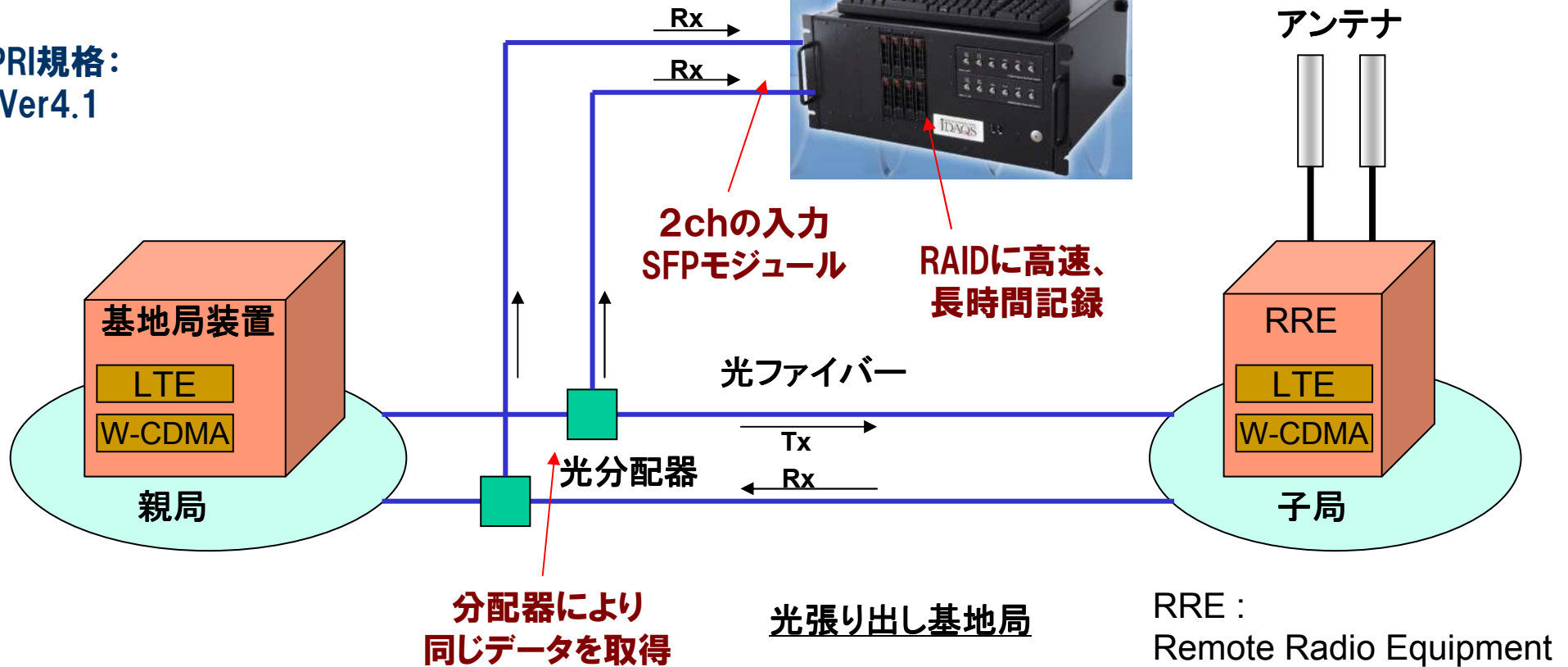
- Ver4.1

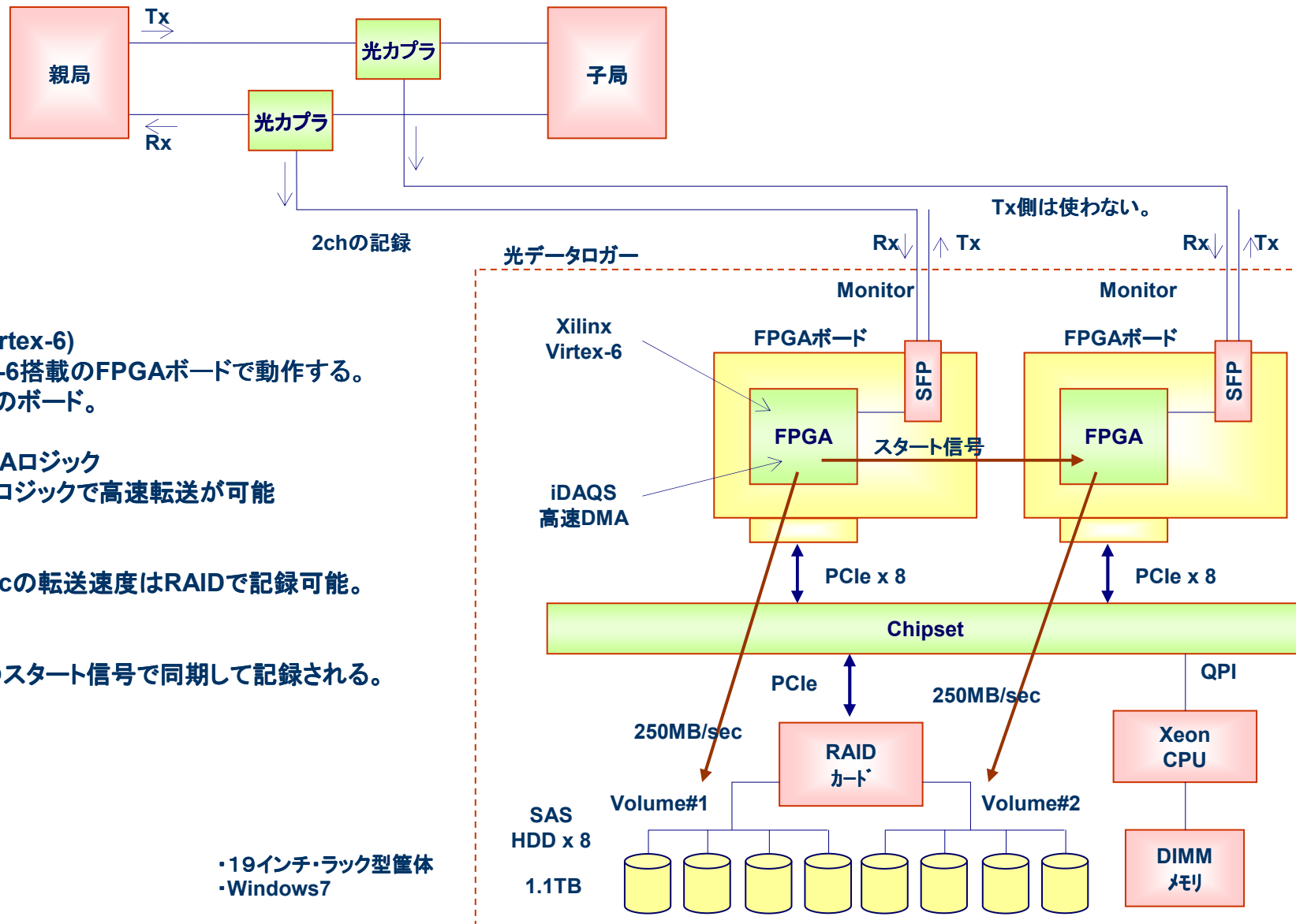
データ収集再生装置 PCDAQシリーズ

光データロガーに改造



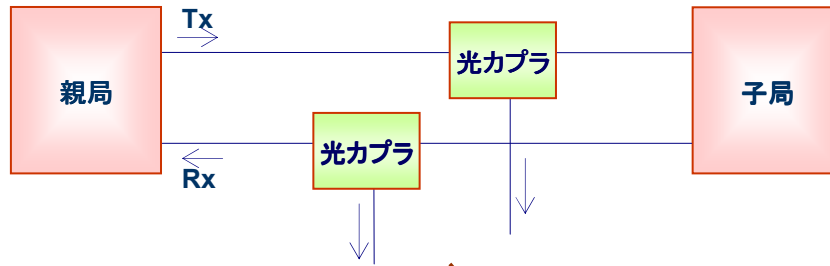
記録と同時にエラー状態を表示





- 1) FPGAボード (Virtex-6)
Xilinx社のVirtex-6搭載のFPGAボードで動作する。
PCI-Express x8のボード。
- 2) iDAQS 高速DMAロジック
自社開発のDMAロジックで高速転送が可能
- 3) 2chの記録速度
合計で500MB/secの転送速度はRAIDで記録可能。
- 4) スタート信号
2台の記録開始のスタート信号で同期して記録される。

・19インチ・ラック型筐体
・Windows7



CPRIのフレームのみを抽出するソフトウェアを用意しています。

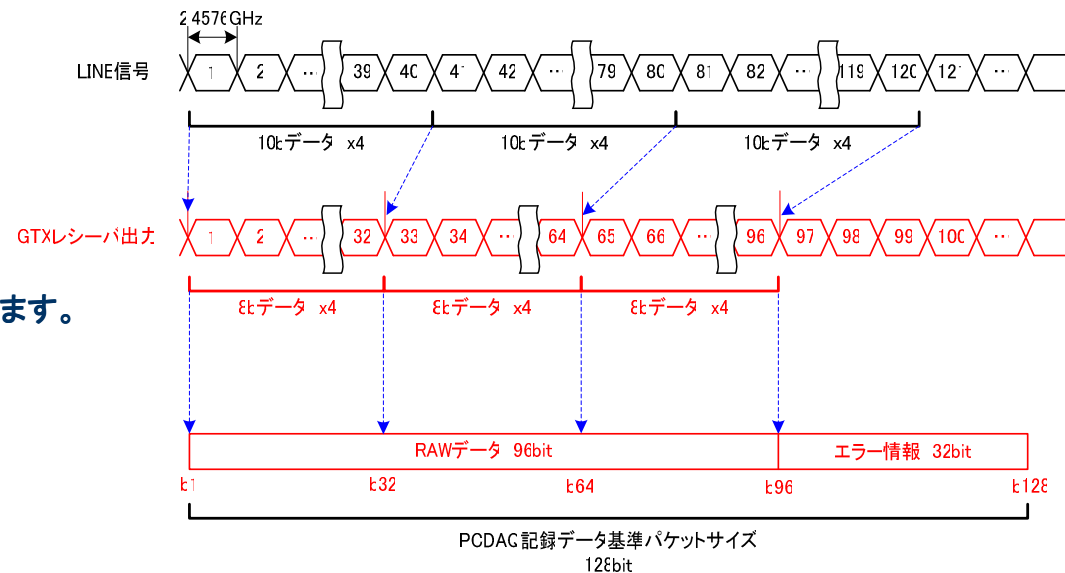
ハードウェアでの抽出は対応可能です。

非常にローレベルのエラー情報を

記録しているために、

原因解析に強力なツールとなります。

※データのフォーマットについて



記録されるデータは128bit単位となります。

1) RAWデータ

8Bに変換されたデータ12個(96bits)をセットにして記録します。

2) エラー情報

- 8B10Bのパリティエラー
- 8B10BのOut-of-Tableエラー
- Rx-LOS状態
- PLLロック状態
- RAWデータがカンマキャラクタを示す。
- RAWデータがKキャラクタを示す。